

福島復興に必要な国際教育研究拠点とは何か？ 地域再生と社会イノベーションを考える

福島復興における地域再生と社会イノベーションをテーマに議論をいたします。

福島原発事故の教訓を継承する国際教育研究拠点とは何か、これからの with コロナの時代における国際教育研究拠点とは何か、福島復興研究の国際教育研究拠点とは何か、などの幅広い論点から国際教育研究拠点のあり方について、復興庁の国際教育研究拠点・有識者会議の最終報告も対象として議論します。

ご関心を持っていただける関係者の方、地域の皆さまのご参加をよろしくお願ひいたします。

日時：2020年8月9日（日）13:30～17:00

開催方法：オンライン会合（Zoom）<https://forms.gle/EQMhRXqHAmD9d6kz7>
リンク先より参加登録をお願いいたします。登録の後に参加方法をご案内いたします。

参加対象：復興知関係者、12 町村関係者、連携機関、地域住民、学生ほか。

プログラム：



＜前半の部＞ 13:30～15:00 MC 草野幸雄・所長代理（東日本国際大学福島復興創世研究所）

- 開会挨拶
- 主旨説明
- 各大学の取組み報告：「地域再生と社会イノベーションの事例」（各15分）
 - 東京大学 出口 敦教授「新地町UDCの地域づくりと人づくり」
 - 近畿大学 伊藤哲夫教授他「川俣町における地域資源活用による商品・サービスづくりと長期的な連携の構築」
 - 福島高専 芥川一則教授他「除染除去土壌再生利用に対する理解醸成アプローチの試み」
- 問題提起（各15分）
 - 東日本国際大学 中村隆行教授「米国ハンフォード地域における経済発展成功モデルの福島浜通りへの適用」
 - 東京大学 秋光信佳教授「科学技術と地域社会の新しい関わりを構築する教育・研究拠点構想」

※質疑応答

＜後半の部＞ 15:30～17:00

- ディスカッション：「福島復興に必要な国際教育研究拠点とは何か？」
 - 自治体・政府関係からの参加 双葉地方町村会 宮本皓一副会長（富岡町長）
復興庁 江口哲郎参事官
 - 住民からの参加 ふたば未来学園 南郷市兵副校長
いゆきおてんとSUN企業組合 吉田恵美子代表理事
 - 学術からの参加 東京大学 森口祐一教授（国立環境研究所理事）
東京大学 徳永朋祥教授
 - モデレーター：早稲田大学 松岡俊二教授
- 閉会挨拶 東日本国際大学 中村隆行教授（最大延長17時30分）

主催：福島復興知“地域再生と社会イノベーション”分野5大学協働事業
福島工業高等専門学校、東日本国際大学福島復興創世研究所、近畿大学社会連携推進センター
東京大学大学院新領域創成科学研究科（予定）、早稲田大学環境総合研究センター

後援：双葉地方町村会、東京大学福島復興知アライアンス ほか

協賛：公益財団法人福島イノベーション・コースト構想推進機構（予定）

問合せ先：復興知5大学協働事業事務局（幹事校 早稲田大学） e-mail jyuten-fukkou@list.waseda.jp

